

第65回日本PTA全国研究大会 仙台大会レポート

(兼第49回東北ブロック研究大会)

●期日：平成29年8月25日(金)～26日(土)
●会場：分科会(仙台市内10会場)、全体会(仙台市体育館)

今年の全国研究大会仙台大会には、岩手県から344人が参加していただきました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。大会の様子を参加者の感想を含めて報告します。



《25日(分科会、仙台市内の10会場)》

分科会	領域	研究課題
1	組織運営	多くの仲間と活動できるPTA活動を求めて
2	家庭教育	子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて
3	学校教育	協働による学校教育活動の在り方を求めて
4	広報活動	保護者や地域への更なる発信力を求めて
5	地域連携	地域と共にあるPTA活動の在り方を求めて
6	人権教育	互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて
7	環境教育	子どもたちが健やかに育つ環境の在り方を求めて
8	健康安全	子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて
特別1	日本PTA	「いじめ」何が起きているかを知る
特別2	文部科学省	支援される側から支援する側へ(さらに一歩踏み出した子どもたち)

《26日 全体会(仙台市体育館・カメイアリーナ)》

東北ブロック研究大会 アトラクション 開会行事 記念講演



第7分科会では、本県から五十嵐会長がパネリストとして登壇しました。記念講演では、「オリンピックへの挑戦」と題して、ウェイトリフティングの三宅義行氏・宏実氏親子の対談講演でした。

「つながる」PTA、仙台大会で学んだこと

遠野西中学校 PTA会長 千田由美子

8月25日、26日に仙台市において、分科会と全体会が行われ、全国から8000人を超える保護者・教職員が集まりました。

私は、第6分科会の人権教育「互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて」に参加し、SNSでのトラブルを事例とした子ども達を取り巻く現代社会についての研修でした。現在の子どもの達には、スマートフォンやインターネットが生まれた時から存在し、その勢いは止まらずに日々進化しています。簡単に書き込めるSNS。子ども達は相手の顔を見ずに発信し続けます。私達人間は、常にその言葉の背景にあるものに目を向けなければなりません。改めて現代におけるコミュニケーション形成の必要性を感じました。

駅を出ると、朝早くから道案内として緑のTシャツを着たPTAの方々が目立っていました。至るところに心温まる気配りが見られ、同じPTAとして、「つながっている」と実感した2日間となりました。

全国研究大会仙台大会の参加を通じて

上田小学校 PTA会長 高村 光輝

第2分科会「家庭教育」では「健やかな脳発達のために」(瀧

靖之氏)の基調講演から脳の発達に関連し、「伸びる家庭」の共通点は子どもが興味を持ったときに、実物を見せる・体験させていること。子どもに知的好奇心を持つってもらうためには、親が楽しんでる姿を子どもに見せること。まとめとして「子ども達に人生が幸せだと感じてもらう」ことに保護者は頑張るべきであるとお話をいただきました。

実践発表・パネルディスカッションでは、家庭支援の際に子ども達に直接アプローチするよりも、まずは保護者自身の意識を考え直してもらうことが重要であると学びました。今回の認識を踏まえ、子どもたちのため、今後のPTA活動に活かしたいと考えます。

第65回日本PTA全国研究大会仙台大会に参加して

猪川小学校 PTA会長 佐々木晋一

8月25日(金)～26日(土)の2日間、「杜の都仙台」に全国各地から8000人が集い、日本PTA全国研究大会仙台大会が開催されました。仙台地方は、この夏の天候不順で記録的な長雨が続きそうですが、大会が始まると雨も上がり、全国から集ったPTAの皆さんの思いが伝わったかのように感じました。

この大会に参加して感じたことは、皆さんが「子ども達のため」という熱い思いを持っているということでした。自分もPTA会長として、それなりに子ども達のことを考えているつも

りでしたが、熱量が全然違いました。今後の活動を考える上で、とても良い経験をさせていただきました。

特別第2分科会に参加して

矢中中学校 PTA会長 川村 学

私は、去る8月25日から26日にかけて開催された第65回日本PTA全国研究大会仙台大会に参加しました。

近年、いじめが原因とされる中学生の命が失われる事案が発生していることもあり、数ある分科会から特別第1分科会「いじめ」何が起きているかを知る」を聴講しました。

講師の鳴門教育大 森田洋司 特任教授からは、いじめの現状や発生構造について説明があり、いじめをしない、させない、環境づくりとして、学校での生徒指導のほか子ども達の生活の拠点である「家庭」における「安心した居場所確保」が大事であり、また社会的な役割を育てる意味からも、何か決まったお手伝い(玄関、お風呂掃除など)をさせるのもよいとの話がありました。

日々の保護者の関わりの大切さ(思春期という難しい時期ではあるが)について、改めて考えさせられた分科会となりました。